様式第１号

Ｘ線トポグラフィビームライン（BL8S2）利用要綱　様式

|  |
| --- |
| ＢＬ８Ｓ２利用承認申請書年　　月　　日　　あいち産業科学技術総合センター所長　殿　　　　　　　　　　　（申請者）　住　　所　　　　　　　　　　　　　　　　　所属機関　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　電　　話　愛知県X線トポグラフィビームライン（BL8S2）利用要綱に基づき、下記のとおり利用申請します。記 |
| 実　 　験　 　名 |  |
| 利 　用 　区 　分 | 一般利用(17U1) 中小企業利用(17U2) 公共等利用(17U3) |
| 期日及び時間 | 年　　月　　日　　第１シフト　第２シフト |
| 年　　月　　日　　第１シフト　第２シフト |
| 年　　月　　日　　第１シフト　第２シフト |
| 年　　月　　日　　第１シフト　第２シフト |
| 総 シ フ ト 数 | シフト |
| 利 用 内 容 |  　別紙のとおり |
| ※機械器具類保管施設 | あいちシンクロトロン光センター |
| * 貸　付　料
 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　円 |
| ※計算基礎 | 一般・中小・公共　×　　　　シフト |
| * 納　入　通　知
 | 原　　符　　　　　第　　　　　号納入通知書 　　年 　 月 　 日 |
| ※　備　考 | ※承認しない理由 |
| 規模コード（　　）　業種コード（　　） |  |

備考１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

　　２　利用内容を別紙に記入すること。

３　申請者は、※欄には記入しないこと。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 様式第１号　別紙 | 実験番号 |  |
| ＢＬ８Ｓ２利用内容　　　　　　　年　　月　　日　（利用責任者）住　　所　　　　　　　所属機関・部署　　　　　　　氏　　名　　　　　　　連絡先（TEL）　　　　　　　　　　（E-mail） |
|  | **１ 実験名** |  |  |
| **２ 利用分野** | □素材（金属・高分子） | □環境・エネルギー | □エレクトロニクス |
| □製薬・日用品 | □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| **３ 利用者** | 原則2名以上とし、氏名等は利用者全員記入してください。 |
|  |  | 氏　　名 | 所属部署 | E-mail |
| ***１*** | (利用責任者） |  |  |
| ***２*** |  |  |  |
| ***３*** |  |  |  |
| ***４*** |  |  |  |
| ***５*** |  |  |  |
| **４ 利用日** | 　　年　　月　　日（　）　第１シフト　第２シフト　　年　　月　　日（　）　第１シフト　第２シフト　　年　　月　　日（　）　第１シフト　第２シフト　　年　　月　　日（　）　第１シフト　第２シフト |
| **５ 測定手法****（◯印を付ける）** | Ｘ線トポグラフィ　　その他（　　　　　　　　　　　　　　） |
| **６ 実験の概要** |  |
|  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |  |
| --- | --- |
| **７ 実験の方法** | （１）測定手法（２）測定装置、検出器、アタッチメント、試料及び試料環境等（３）現地での試料作製、前処理、持込装置、特殊条件等 |

**８ 持込試料及びその他の物質（測定試料、化学薬品、ガス等）**・全ての持込試料及びその他の物質について、以下の全ての事項を記入してください。・実験終了後、持込試料及びその他の物質はお持ち帰りください。・申込者の所属機関の安全基準を満たしていることが必要です。・他の実験者および当センター職員の安全確保のため、又は法令に準拠し、当センターの判断で持込みを制限することがありますので、ご承知おきください。・持込み後は、センターの化学薬品取扱細則及びその他関係規程等を遵守し、当該薬品実験廃棄物を適切に取り扱うものとします。・生きた動物、微生物、密封放射性物質等の持込みはできません。・保護具をお持ちくださいますようお願いします。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物質名(化学式)※ 1 | 形態(外観)※ 2 | 数・量・ｻｲｽﾞ・容量※ 3 | 性質※ 4 | 分類※ 5 | SDS等※ 6 | リスクレベル※ 7 | 安全対策※ 8 | 使用目的※ 9 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注：以下の例に従って記入のこと。行数不足時は要追加。）※1：物質名は薬品名、慣用名等を記入（商品名は避けること）。化学式は元素記号（有機化合物の場合は示性式）で表記。組成やドープ量等の異なる試料は別々に記載（略称不可）。＜例：酸化チタン(TiO2)、鉄(Fe)/シリコン(Si)＞※2：形態は測定試料部位の形状、外観は試料全体形状を記入。＜例：薄膜(Siウエハ)、粉末(キャピラリ)、液体（密封ポリ袋）等＞※3：数・量は、試料の個数・一試料あたりの重量等。サイズはタテ×ヨコ×厚さ等（単位を付けること）、容量は容器の包装容量（㌘、ml）を記入。　　　＜例：5枚・0.1㌘、10×10×0.5（単位mm）＞※4：性質は、無害、爆発性、引火性、可燃性、自然発火性、禁水性、酸化性、急性毒性、腐食・刺激性、特定有害性、高圧ガス等の別を記入。なお、「無害（有害）」とは人に対する無害性（有害性）の意。※5：分類は、毒物、劇物、特定毒物、危険物、特定化学物質、有機溶剤に該当するものはその旨を記入。※6：「無害」以外はSDS等を必ず本申請書類に添付し、上欄に○印を記入。※7：GHS分類ですべて区分外の場合は「区分外」と記載。それ以外は、リスクアセスメントをおこない、リスクレベルを記載すること。4段階評価でリスクレベル2の場合は 2/4 と記載してください。厚生労働省のホームページ「職場のあんぜんサイト」で、支援システムを提供しており、サイト上で必要な情報を入力すると、リスクレベルと、それに応じた実施すべき対策と参考となる対策シートが得られます。下記URLをご参照ください。http://www.astf-kha.jp/synchrotron/news/Riskassessment.html※8：安全対策は「無害」を除き全て記入すること。＜例：フィルムシートに密封、保護メガネ・手袋・マスク等着用、試料搬送導入機で真空中搬送、窒素充填バッグ中で装置へ導入等＞※9：使用目的は、測定、器具洗浄、in-situ実験に使用等を記入。 |
|

|  |  |
| --- | --- |
| **９ 利用を希望する****当センターの装置、器具等** |  |

※利用については必ず事前に相談すること。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **１０ 持込装置、器具等**（記憶媒体等はウイルスチェック済のものであること） | 装置・器具名 | 仕様※ | 安全対策 |
|  |  |  |

※電圧、電流、圧力、温度なども記入すること。

|  |  |
| --- | --- |
| **１１ 特記事項**（その他実験において留意事項等があれば記入してください。） |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **１２ チェックリスト** | **チェック項目** | **チェック欄** |
| 各項目の必要事項を記入したか。未記入はないか。 |  |
| 利用者は２人以上になっているか |  |
| 持ち込む全ての試料について、持込試料欄に記入したか。 |  |
| 持込試料等は記入例に従った記載になっているか。 |  |
| 有害な持込試料については、MSDSが添付されているか。 |  |

 |

様式第７号

|  |
| --- |
| **誓　約　書**年　　月　　日　あいち産業科学技術総合センター所長　殿　　　　　　　　　　　　　　　（利用責任者）　　　　　　　　　　住　　所所属機関・部署　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　電　　話　　　　　－　　　－　　　　　　　　　　　　　　E-mailBL8S2の利用に当たり、下記に掲げる事項を遵守することを誓約します。また、実験参加者を指導し、下記に掲げる事項に従わせることを誓約します。記１　愛知県X線トポグラフィビームライン（BL8S2）利用要綱及び、あいちシンクロトロン光センター（以下「AichiSR」という。）に係る設置規程、利用要綱及び利用の手引き等を遵守すること。また、AichiSRが行う安全及び管理のための指示に従うこと。２　不慮の事故に備えて傷害保険に加入すること。３　実験に使用する物品、薬品等は、所定の手続きに従って持ち込み、万全の注意をもって管理すること。また、持ち込んだ物品、薬品等は全て責任を持って持ち帰ること。４　AichiSRの施設、設備及び物品の使用にあたっては、設備及び安全の担当者の指示に従うこと。また、使用後は従前の状態及び場所に戻すこと。５　施設の装置の故障等により、予定していた利用時間数が減少した場合でも、愛知県又はその職員並びに公益財団法人科学技術交流財団又はその職員に対して賠償請求を行わないこと。６　事故及び災害の際は、利用責任者が責任を持って対処し、速やかにセンター職員に報告すること。７　AichiSRの利用に際して知り得たAichiSRの秘密情報は、厳重な注意をもって管理、保管し、AichiSR所長の文書による事前の承諾を得ることなく、第三者に開示または漏洩しないこと。８　この誓約に規定する事項を守らなかった場合、愛知県に提出する書類に虚偽の記載があることが判明した場合、又はAichiSRの運営に支障をきたすとAichiSRが判断した場合には、愛知県が行う利用中止等の指示に従うこと。９　この誓約書について疑義又は紛争が生じたときは、相互に協議、解決を図ること。 |